



カオスと世界

令和8年2月26日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

世界の崩壊は今日必ずしも嘘でない。新しい世界への移行は既存現実の崩壊とともに、その目的を有するからである。

これらはラングラーにおける CIA の文書に記載される現実でなく、世界政治の合意における新たな世界への計画なのである。

それら現実に対してその選択は宇宙星人における判断と決定とともに、世界における新たな現実を要求することである。

これら宇宙には宇宙の存在があり、世界への理解を有するためである。

また現実に対して自らの現実の構築を行うことは、それら基盤において未来を求めることができるのである。

これらはアジアにおける同盟体の形成などにおける世界への対峙は、今日の世界の現実に対してその選択を求めるものである。

真実は小説よりも奇なりとは今日の世界の現実への正しい言葉である。

また今日の技術革命は、新たな富の創出とともに、全ての現実を支配するものである。

これら欲望は今日その制限を得ず、世界の基軸は喪失され、それら変化に対して人々は無力である。

しかしそれらに対して、自らの現実を求め、行うことは、新たな世界と未来を提案できるものである。

これはかすかな希望という光が、世界の唯一の選択であり、それ以外存在しないならば、それらが現実を求め行うことは、否定できないのである。